

東北関東大震災災害対策ニュース

第4号

2011年3月18日 PM17:30

東京都生協連災害対策本部

東京都生活協同組合連合会
災害対策本部
本部長 竹内 誠 専務理事
東京都中野区中央5-41-18
東京都生協連会館
電話:03-3383-7800
Fax:03-3383-7840

このたびの東北関東大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

会員生協は今、組合員の暮らしを支えるため 全力で事業の継続に取り組んでいます

本日、東京都生協連は、全会員生協に対し業務や活動情報の提供を呼び掛けました。收拾した情報は、会員生協の対策に役立ててもらうとともに、東京の生協の状況について関係機関に情報提供するためのものです。

本日提供を受けた情報です。

【コープとうきょう】

首都圏では、計画停電に伴う交通機関の運休やガソリン不足、メーカー、物流の停滞、水、米、カップめんといった主力備蓄品などを中心とした消費者の買いだめ行動などが発生しています。コープとうきょうは安全性の確保を前提として事業継続を最優先に取り組んでいます。

またコープとうきょうでは ホームページにおいて組合員に、生活関連商品については被災地への救援を優先することに理解を求め、商品の買占めなどのないよう冷静な行動を呼びかけています。

* コープデリ宅配事業

- ・ 地震発生に伴う注文用紙読み取り遅れによる曜日ずれ配達や、冷凍品の欠品、米の遅配などが発生したが、配達トラックに営業担当者を同乗させるなどの対応を行い配達を行った。
- ・ 欠品や配達時間などの問い合わせがコープデリコールセンターに殺到、通常の数倍の入電がある日もあった。
- ・ 燃料についてはガソリンスタンドに1時間以上並び燃料確保に努めた。
- ・ 交通機関の運休などにより、集品センターの人員不足が発生し、冷凍品が欠品となった。冷蔵品については、製造工場が北関東にある日配品も品薄状態。
- ・ 精米会社の停止や物流の混乱などにより、米の商品調達が厳しく、遅配による対応を行った。
- ・ 3月26日に日比谷公会堂で開催を予定していた「コープデリ職員全体会議」を中止した。

* 店舗について

- ・ 全75店で営業している。
- ・ 地震により被害を受けたコープ上井草店、コープ白山店については緊急修繕を行い通常

に営業している。

- ・ 計画停電については閉店時間の繰上げや節電対策による看板の消灯など実施している。
- ・ 地震発生後、米、水、カップめんなどの備蓄品の利用が増えており、商品確保に全力で取り組んでいるが、品切れ等が発生している。
- ・ 製造工場が北関東にある日配品を中心に確保が困難な状況であり、商品によっては数量限定供給を行っている。
- ・ 惣菜については工場の原料生産が停止したため、一時調達が5割ほどになったが、16日には9割まで回復した。

* 福祉事業

- ・ 福祉事業については特に影響なく、通常のサービスを継続して行う。

* 組合員活動

- ・ 3月ブロック別総代会議は、地震による影響で延期した。

* その他

- ・ 地震発生後、本部の新中野ビル前、青梅街道で、大勢の徒歩帰宅者のためにエイドステーションを開設しトイレを開放し多くの利用があった。
- ・ 募金
コープデリ宅配・店舗ともに3月14日から「東北地方太平洋沖地震義捐募金」に取り組んでいる。募金は日本生協連を通じて被災地へ。

【パルシステム東京】

添付ファイルもしくは別紙をご参照ください。

【東都生協】

東都生協はホームページにおいて組合員に商品供給に関する情報をお知らせするとともに、被災した取引先への応援を呼びかけています。

また、東北地方太平洋沖地震への支援金について組合員に協力の呼び掛けを行っています。

さらに、福島第一原子力への東都生協の対応について情報を掲示しています。それによると、東都生協はチェルノブイリ事故以降、「ゲルマニウム半導体核種分析装置」を導入、定期的に取り扱い商品の残留放射能検査を行っているとのこと。また、原発事故の被災地域からの商品の納入はないこと、3月15日からは福島県を含めた隣接県の農産物の検査を実施しています。さらに、放射能物質に関するQ&Aをホームページに掲載しています。参考にしてください。

【生活クラブ生協】

生活クラブ生協は、生活クラブ連合会と連携して災害対策と事業継続に取り組んでいます。

供給関連では、配送車両でラジオによる地震情報を聞くことを許可し、情報を適宜把握しています。

原発事故による放射能に関する対応では、職員に万一の対応に備え、カップ・軍手・マスクを常備するように指示しました。また、組合員からの問い合わせに対しては、

- (1) 国・行政の発表の通り現時点では生産物および人体への影響は心配ないレベルである

と判断しています。

(2)生活クラブは、独自に検査室を設けており、また、六ヶ所再処理工場ネットや放射能汚染食品室と連携し、放射能汚染測定を計画しすすめます。こうした連携により、政府発表の裏付けを取りながら対応していきます。

(3)情報はただちに公開しますので、ご安心ください。

さらに業務関係では、ほかの地域生協と同様に、ドライアイス、ガソリンの確保に全力を尽くし、供給に支障をきたさないように手を打っています。

被災地支援に関しては、被災された方に毛布の提供を組合員に呼びかけています。都内4カ所の配送センターで受付けています。同時に組合員に、毛布仕分け作業お手伝いの協力を呼びかけています。すでに多くの組合員から協力が寄せられています。そして、カンパ募集活動を行います。3月18日より、全組合員に募集ニュースを配布、デポ一店頭でも募金活動に入りました。

また、被害を受けた岩手の生活クラブ生協への事業支援に、職員2名を派遣することを決めました。

【東京南部生協】

東京南部生協においても配送車両のガソリン確保に苦勞していますが20%は確保できることです。計画停電については業務連絡を出し共有化しています。ドライアイスの確保にも懸命です。

職員体制については、受付応援、供給応援、拡大待機など、必要な人員確保のために職員に指示を出し、対策に努めています。そして、状況は全体的には落ち着いてきたが、緊張感をもって業務に対応するよう指示を出しています。

【自然派くらぶ生協】

【生活クラブ連合会】

生活クラブ連合会も、事業継続と被災地生協支援、会員生協支援に全力を傾注しています。計画停電による対策としては、飯能DCでは夜間蓄熱を利用するため、要冷設備は問題なし。通信系は無停電電話機とMCA無線機を活用するとのことです。

被災地支援に関しては、日本生協連中央地連と東京都生協連の原則とルールに沿って対応します。人的な支援については、長期的な対応も考慮して行います。また、水などの支援物資は、提携生産者にも協力を要請しています。

【消費者住宅センター】

東京においても、地震発生後、組合員より屋根瓦の破損、ブロック塀の損傷など連絡が入り、随時対応しています。また、ハウスイアドバイザーの協力を得て、新築や増改築などの工事の組合員に電話入れを行っています。

4月には、組合員の住まいの総点検や募金活動に取り組みます。

【東京都学校生協】

事業面では、共同購入に欠品や遅配がでています。また年間予約米にも遅配、産地ボックスも遅配の状況です。

組合員に対しては、広報誌において日本生協連の募金について協力を呼びかけます。事務局内では募金を始めました。4月には支援企画を展開予定しています。

【東京都生協連】

昨日、東京都より要請のありました支援物資調達に関しましては、会員生協のご協力により以下のように調達、搬送を準備しています。会員生協のご協力に感謝いたします。

品目	要請数	確保数	発注先
飲料水	1,400,000	1,200 (2L)	全国大学生協連
		24,000 (5000ml)	全国大学生協連
使い捨てカイロ	1,400,000	72,000	東京都生協連
紙おむつ (子供用)	300,000	33,820	東京都生協連
介護用おむつ	70,000	4,246	東京都生協連
発泡スチロールのおわん	19,000	21,000	全国大学生協連
割り箸	19,000	20,000	全国大学生協連

被災地支援に取り組むことが求められています。

* 被災地生協の営業再開に向けた人員支援

日本生協連は3月17日、被災地生協の営業再開に向けた人員支援の要請を行いました。これに応じ、現在、コープとうきょうが人員派遣の準備を進めています。

* ガソリン情報

被災地支援における燃料確保については、日本生協連ホームページの「情報プラザ」をご参照ください。

なお、日本生協連が発信する重要な情報は、この「情報プラザ」に集約されています。

会員生協には、是非、ここからの情報取得をお勧めします。

* 本日掲載できませんでした会員生協の情報は、継続して順次報告します。